

様式 1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和 8 年 8 月 8 日

東員町議会運営委員会委員長

山崎 まゆみ 様

東員町議会議員大崎 昭一

研 修 報 告 書

研修期間	令和 8 年 8 月 3 ～ 4 日（月・火） 【 2 日間】
研修（視察）先	1 日目，大阪府和泉市議会 2 日目，滋賀県大津市議会
目的（テーマ等）	1 日目 議会改革の取り組みについて 2 日目 大津市議会 BCP と防災訓練
特記事項	

※ 目的、研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式 1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 大崎 昭一 〕

＜目的、研修概要＞

- 1 日目・和泉市議会「議会改革の取り組みについて」
- 2 日目・大津市議会「BCP と防災訓練」

＜内容＞

1 日目 和泉市議会「議会改革の取り組みについて」

和泉市議会事務局の担当職員様より約 1 時間半にわたり、議会の運営、議会改革の取り組み等 10 項目にわたり詳しく丁寧に説明をいただいた後、質問に答えていただきました。

本研修の主たるテーマである議会改革については、議会改革の経緯の中で、平成 18 年に議会改革検討会議を設置し、他市議会の状況を調査研究し、議会改革を進め、一定の成果を得たと判断して令和 2 年に議会改革検討会議を終了したが、状況変化の中で、令和 5 年に「議会改革活性化会議」を設置して、取り組みを進めている。

取り組み内容は、議会のインターネット配信、タブレット導入、UD トーク、ヒアリンググループの導入等デジタル機器を活用して、聴覚障がい者の皆さんにも会議を円滑に傍聴していただく環境整備の充実を図ること。

住民参画については、議場傍聴席に車いす使用者席の設置、親子席の設置を確保したこと。

子ども議会開催、市内小学生の夏休み中の議場見学と市長・教育長を交えての意見交流の実施等を教育委員会とのタイアップで実施していること。

SNS 分野では X（旧 Twitter）での情報発信、Youtube によるライブ配信など様々な角度から議会改革活動の成果を上げておられます。

2 日目 大津市議会 議会「BCP と防災訓練」

大津市議会事務局職員様より約 1 時間半にわたり、BCP の計画策定の経緯、概要、防災訓練の説明を受け、質問に答えていただきました。

「議会 BCP」策定への動機は、東日本大震災(H23.3)、大津市南部豪雨災害(H24.8)を踏まえ、H25 年 5 月の議員研修会「災害時における議会の対応につ

いて」の勉強会で、議会 BCP の必要性を認識し、翌 6 月に、議会 BCP の策定を決め、「政策検討会議」を設置し、同志社大学新川達郎教授の助言を得て合計 10 回論議を深め、平成 26 年 3 月に「大津市議会 BCP」を策定されました。

[BCP 策定]は全国の地方議会で初めてのこととして、2014 年第 9 回マニフェスト大賞において、優秀復興支援・防災対策賞、審査委員会特別賞を受賞されました。

検討段階では、全議員の意思が反映できるよう政策検討会議を設置し、議論を構築して、議会の意思決定を諮ってられました。

実績・成果としては、「議員政治倫理条例」「いじめ防止条例」「議会 B C P」「災害対策基本条例」などを策定されました。

議論の積み上げの中で、災害時の議会活動において、議会の強み、弱み、役割と責任、BCP の目的、考慮すべき議員の得性などの自己分析をされています。

議会 BCP の特徴、構造、議員・議会事務局の業務継続体制と組織運営など、議員の行動基準や基本的行動、業務継続会議の指揮命令系統を明確に定め、さらに、議会の基本的機能の維持継続と執行部との関係性において、秩序維持を順守し、安全確認行動、情報収集と集中の方法についてのマニュアル化を図られています。

BCP は完成したマニュアルとの判断ではなく「未完成」のものであるとの認識に立ち、防災訓練を年一回実施して、必要に応じて適宜見直しを図るとの説明でありました。

令和 7 年 11 月 4 日実施の防災訓練の説明もありました。

- ① 対象者は、議員と議会事務局職員全員
- ② 訓練内容は、議員の安否確認 被災状況の情報共有 オンラインによる災害対策会議開催等を、Microsoft Teams（マイクロソフトチームス）を使用しての訓練の様子の紹介を受けました。

また、BCP 環境整備の一つとして、折り畳み式防災用ヘルメットを議員 38 個、執行部、議会事務局職員 40 個が用意され、本会議場内の各議員座席に収納されています。

＜所感＞

和泉市議会と大津市議会への今回の視察研修での共通点は、いずれも議会を代表して説明を受け持たれたのは、議会事務局職員でありました。冒頭の歓迎挨拶で、和泉市議会は議長、大津市議会は副議長が、ご挨拶を述べられて退席でした。

私の経験則で、議会三役あるいは議員選出の委員長職の出席で説明と思い込んでおりましたので意外性を感じましたが、考えてみれば、いずれのテーマも、原則議員任期 4 年間とする議員が政治判断をするということではなく、長期にわたり経験を積み重ねて、二代表制の一方の責任を持つ議会が取り組む課題として、経験を蓄積し、修正改善を図るテーマと考え、納得しました。

ここには、議会事務局サイドの果たす役割としては、議会運営諸課題を滞ることなく事務処理する仕事、これにプラスして、二代表制の一方の主役である議会活動の一員として、議員・議会事務局の業務継続体制と組織運営など、議員サイドのみでは、足らざる部分を補完する任務を受け持っていると認識しました。

議会改革そして議会 B C P ・議会業務継続会議の継続的な運営・蓄積・発展には、本議会事務局の役割が、今以上に必要な課題と思いました。

東員町議会事務局体制が現状のままで、今回の視察研修テーマを具現化することには、いささか無理があり、困難ではないかと思いました。

議会改革・議会 B C P はともに東員町議会でも取り組むべき課題でありますから、その実現へ向けては、その出発点として、まずは最初に協議検討すべき課題は、事務局の在り方が今のままで、研修課題を中長期的に運営継続できるかどうかを、協議検討することがスタートラインになると思いました。

今回の視察研修において学びは多々ありましたが、議会改革に向けて本議会が着手すべき第一は、議員サイドと事務局サイド、この両者の協力協同の在り方について、さらなる充実・前進に向け、いかあるべきかを協議する必要性を感じた次第です。以上の課題とは別に、本議会の議会改革で、すぐにでも着手できることは、以下の 4 項があります。

- ① 議会のインターネット配信。
- ② 議場の壁面にモニターを複数設置する。
- ③ UD トーク、ヒアリンググループの導入等デジタル機器の活用で、聴こえに不自由な皆さんにも会議を円滑に傍聴していただく環境整備の充実を図ること。
- ④ 議場傍聴席に車いす使用者席の設置、親子席の設置をする。

今後も他議会に学びながら、東員町議会の改革を推進したいと思います。
以上が所管の一端です。